

なぜなぜ分析による真の要因追求と 現場改善

～失敗しない“なぜなぜ分析”のススメ！
“なぜなぜ分析”を成功に導くポイントとコツを身につける！～

「なぜなぜ分析」法は原因究明型問題解決手法の一つであり、職場に存在する各種“問題”の原因を、「なぜなぜ」と究明しながら、真の原因を見つけ、これを潰す対策を見つける方法です。この方法の名称が分かり易いせいでしょいか、多くの方々が使用しています。しかし、多くの場合、うまく行っているとは言えないようです。つまり、①真の原因にたどり着けたような気がしない、②原因が抽象化し対策が大きくなる、③作業担当者責めることとなり、途中から後味の悪いミーティングとなる、④結局、担当者とリーダーばかりが意見を述べ、担当者が思っていた原因と実施困難な対策となり、「それはできない」病に陥る、などです。

これらの障壁を打ち破るには、問題解決の基本を知っている必要があります。a)“問題”とは何か、b)現象と原因は大違い、c)管理・監督者の仕事と役割、d)原因は人が作っている、e)発散思考して収束思考する、f)改善活動は実行計画書を作成し関係者が実行し確認する、等です。

本コースでは、問題解決の基本から、「なぜなぜ分析」の手順、ポイントを講義と演習を通して学びます。

開催日時	令和7年12月22(月)～24(水) [3日間] 各日 9:30～16:30				
定 員	12名	受講料	25,000 円/名	開催場所	四国職業能力開発大学校
カリキュラム 内 容	1. なぜなぜ分析に掛かる前に (1)なぜなぜ分析の必要性 (2)論理的思考をする MESE と演繹の発想 (3)現場を見よう ①メンバー皆で現場を見に行く ②現場の絵図を描いておく ③科学的表現は改善の世界を変える ④データを準備する (4)問題点を明らかにしておく (5)発散思考と収束思考 2. なぜなぜ分析の実践 (1)現象と原因 (2)新人や無役職者の個人を責めない (3)逆方向チェックで“整合か飛び”か確認 (4)止めどころは、“応急”か“恒久”か (5)なぜなぜの原因と対策 ①対策の無い原因は原因ではない 「…が分かっていたにも拘らず…」 ②対策の立案は最小限で最大限 ③対策の選択は優先順評価の高いもの (6)なぜなぜ分析による「真の原因, 真…」 3. この分析を応用する (1)「管理」こそ最強の改善手法 (2)改善実行計画書を作る。 (3)定期報告会				
持 参 品	筆記用具				



【お問い合わせ】

四国職業能力開発大学校(四国ポリテクカレッジ)

〒763-0093 香川県丸亀市郡家町 3202 番地 TEL:0877-24-6298(援助計画課)

E-mail:shikoku-college03@jeed.go.jp